

夢に向かって一歩ずつ

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になりました。毎日の感染者数の発表はなくなりましたが、週集計では4月に比べて微増している様子が見えます。学校では、換気を中心に引き続き感染対策を行ってはいますが、マスクの着用については、様々な事情に配慮し、個人の判断としています。With コロナから、after コロナへと舵を切っていくことになり、学校教育活動をよりよいものにブラッシュアップするチャンスでもあります。建設的なご意見をお寄せください。

さて、保護者の皆様、守り隊の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますこと、心より感謝申し上げます。運動会も数日後に迫って参りました。今のところ天気予報もマーク（5月29日時点）で、予定通り実施できそうです。子どもたちの「練習の成果」や「全力で取り組む姿」をご覧いただければと思っております。応援よろしく願いいたします。

（学校長 松田 幸一）



□ 第1回 児童総会(5月18日)

「みんなに楽しんでもらえるような学校にしよう!」をスローガンに、令和5年度の児童総会が開催されました。児童会長を始め各委員長から、本年度の委員会目標や活動計画が発表されました。それに対して、参加していた4年～6年生からは、質問や意見、要望などが出され、活発な質疑応答が行われました。全員の力強い拍手で、活動計画が承認されました。

□ 音楽鑑賞教室(5月12日)

コロナ禍でできなかった音楽鑑賞教室が、3年ぶりに本校体育館で行われました。雅の風さんの「和太鼓、尺八、篠笛」の演奏と、チャッパという楽器を使った楽しいパフォーマンスに魅了されました。また、エル・コンドルさんの、南米の楽器による「コンドルは飛んでゆく(ペルー民謡)」から始まったステージも手拍子でノリノリ、「アンデスのお祭り(ボリビア民謡)」では手拍子に加え足拍子でも演奏に参加し楽しみました。最終曲は、和楽器と南米の楽器のコラボによる「コーヒールンバ」、名残惜しく盛大な拍手で終わりました。



□ 「学校運営委員会」「治田型コミュニティースクール運営委員会」(5月26日)

地域と共にある学校づくりを推進するために、コーディネーターを井浦克己様にお引き受けいただき、本年度の第1回運営委員会を開催しました。PTA 会長さん、公民館長さん、育成会長さん、守る会の会長さん、クラブや学習の学校ボランティアの代表の方にお出席いただき、「子どもは地域の宝」であり「治田の子どもは治田で育てる」ために、保護者・地域・学校が一体となって取り組んでいかれるように、具体的な目標を設定していただきました。

○ 進んであいさつのできる子ども

あいさつは、おはよう、こんにちは だけでなく、ありがとうや会釈、思いやりの心も育てていきたい。

○ 地域を知り地域を愛する子ども

地域を知ること、地域に愛着を持った大人になってほしい。

地域のご意見を大切に受け止め、今後の学校運営に活かして参りたいと思います。

□ PTA 作業(5月27日)

保護者の皆様には早朝よりお集まりいただき、校庭や南庭を中心とした草刈り等の校地内の整備作業を行っていただきました。例年になく春の暖かさで成長してしまった草を、ビーパーを使ったり、草かきを使ったりしながら、隅から隅まできれいにしていただきました。北校舎北側の草捨て場の、うずたかく積み上がった草の量を見て、改めて PTA の方々のお力を感じました。また、テントが立ったり、コースロープが整備されたりし、運動会も含め、子どもたちの学ぶ環境の整備をしていただいたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。